IBM i 2025

IBMiコンテンツ(2025年6月版)

最新のBRMSを使ってみよう - WebインターフェイスとSQLサービス機能の活用 -

日本アイ・ビー・エム株式会社 テクノロジー事業本部 IBM Powerテクニカルセールス

BCPは確実なデータバックアップとリカバリー態勢から! 新しくなったBRMS (バックアップ・リカバリーとメディアサービス) を使ってみよう

BCPにおけるIT部門の最初の仕事は、できるだけ直近のデータを、全て確実に、安全なロケーションの別デバイ ス/別システムに保管し、かつ、必要な際に短時間で確実に復元するための仕組みを整えることです。 BRMS (正式名称: IBM Backup, Recovery and Media Services for i) のライセンスプログラムが、5770-BR1か ら5770-BR2になり、新しいWebインターフェイス、SQLサービスなどの新機能が使えるようになりました。 当資料では、より便利になったこれらの機能をご紹介します。 従来の5770-BR1の基本機能については、下記のリンクの資料に詳しく紹介していますので、参照してください https://www.jbcc.co.jp/products/files/ibmpowercolumn_202401.pdf

<u>目次</u>

1. BRMS 概要

- 2. BRMSの新しい機能ご紹介
- 3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう
- 4. BRMS SQLサービスを使ってみよう
- 5. 補足情報

1. BRMS概要 (1) BRMS概要

- ✓ BRMSは、IBMiのバックアップ、テープメディア管理ソフトウェアとして、 OS標準の保管・復元機能を拡張し、媒体の世代管理など磁気媒体(仮想テープ 媒体を含む)の運用管理機能を提供します。
- ✓ BRMSのライセンスプログラムは、5770-BR2が、5770-BR1の後継版として 発表され、出荷(2024年1月)されました。
 -5770-BR2は、5770-BR1の全ての機能を含みます。
 -5770-BR1は、2025年9月末でサポート終了になり、5770-BR2へ移行する必要あります。
- ✓ 5770-BR1では、別途有償オプションであった拡張機能(階層管理機能)と ネットワーク機能が標準で含まれます。

- ・BRMS は、IBM i のお客様のデータ保存と復元操作を計画、管理するためのIBM戦略的ソリューションです。 BRMSは、IBM iユーザーが、完全に自動化された単一システムのバックアップ、復元、テープ媒体管理を 実装するために必要なすべての機能を提供します。
- ・新しいライセンスプログラムである、5770-BR2は、コア数単位ライセンスで、ソフトウェア・グループに 依存しない料金体系です。これはサブスクリプション・ライセンスで、1,2,3,4,5年、90日の期間があります 従来は、別ライセンスの追加フィーチャーであった、拡張機能(HSM:階層型記憶域管理)とネットワーク機能 (複数のIBM i区画の媒体管理)を、基本機能として統合しました。
- ・BRMSは、PowerVSでは、IBM iの場合、無償で使用できます。(2025/06 現在はBR1を標準ソフトとして プリロード済み)
- ・BRMSの新しいWebインターフェースは、5770-BR2でのみ提供されています。また、5770-BR2は IBMi 7.4以降で使用可能です。
- ・5770-BR2の導入方法や、5770-BR1からBR2への移行については下記を参照してください。 https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/2765848577/BRMS+5770-BR2+Installation

1. BRMS概要

(2) BRMSの機能 (5770-BR2)のご紹介

- バックアップ機能
 - ・ 自動バックアップ機能
 - 並列保存機能
 - ・ 無人制限状態バックアップ
 - 完全なバックアップ履歴

> 回復機能

- ・ システム災害復旧レポート
- 個々のオブジェクトの回復
- · 自動復旧機能

> 媒体管理機能

- ・ 媒体の検索、履歴管理、世代管理
- ・ 媒体の保護
- 媒体の複製

▶ 拡張機能(階層管理機能)

- ストレージ階層全体のデータの自動的な管理
- ASP間でユーザーライブラリ、フォルダ、およびスプール されたファイルの移行
- ・ システムポリシーに基づくデータの自動移動

- ・ 複数マシン、区画間の中央集権的なメディア管理
- ・ 別のシステムからデータを復元する機能



・BRMSの基本的な機能(バックアップ、回復、媒体管理)についてのご紹介は、 下記のマニュアルを参照してください。

https://www.ibm.com/docs/ja/ssw_ibm_i_75/pdf/sc415345.pdf

5770-BR2に追加で下記機能が標準となりました。

· 拡張機能(階層管理機能)

動的検索と自動化されたディスク・プール・データ移行により、階層型ストレージ・マネージャー(HSM)での アーカイブを可能にします。並列保存操作は、1つのオブジェクトの並列アーカイブと並列動的検索を可能にするために 機能します。大規模データベース・ファイルを、パラレルに動的検索できる機能は、検索プロセスのウィンドウを 削減するのに役立ちます。BRMSでは、データベースファイル、ストリームファイル、ドキュメントを、使用頻度、 非アクティブ制限、オブジェクトサイズ、ディスクプールしきい値に基づいてアーカイブすることができます。

・ネットワーク機能

ローカルTCP/IP、APPN(Advanced Peer-to-PeerNetwork)、またはその両方を使用して、ネットワーク内の複数の BRMSシステムを集中管理できます。 BRMS ネットワーク・システムは、BRMS ネットワーク・グループ内で管理される 媒体に関連したインベントリーおよびポリシーを共用します。 さらに、ユーザーは、ネットワーク内の任意のシステムの 保管ヒストリーを、単一システムから表示できます。 BRMSネットワーキングはまた、ネットワーク内のあるシステムを 使用して、ネットワーク内の別のシステムのメディアを複製することで、メディアの複製を簡素化することができます。

IBM **i** 2025

2. BRMSの新しい機能のご紹介

5770-BR2での主な新機能は、下記の2つです 1)BRMS 用のWeb インターフェイスをリリース

- WebブラウザからBRMSのバックアップと媒体情報を簡単に監視可能
- 現在(2025/06) は、IBM Navigator for iとは独立したインターフェイス
 IBM Navigator for iの「ブックマーク」から「IBM BRMS for i」を選択して起動



- 2) BRMS用のSQLサービスの提供
 - BRMS 情報を表示、順序付け、およびサブセット化するための新しい方法として、 SQL サービス・インターフェースが利用可能(BR1での機能から拡張)



解説

- ・機能強化の多くは、リリースごとにリストされているIBM i PTFを使用して提供されます。
- ・現在(2025/06)のBRMS Webインターフェイスは、BRMSの監視(モニタリング)のみです。
 今後、BRMSの登録・管理機能がPTFで追加されていく予定です。
 今後のWebインターフェイスの拡張予定については下記を参照してください。
 https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/2208628737/BRMS+Web+Interface+Strategy
- ・BRMS Web インターフェイスによって提示される情報は、BRMS 製品のユーザープロファイル権限に 署名された権限に基づいています。ユーザーに権限を与える方法については下記を参照してください。 権限によって、情報の内容がかわります。

https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/3184558124/BRMS+Web+Authorization

・BRMS SQLサービス BR1のSQLサービス機能に加えて、BR2では、複数のカテゴリーのサービスが追加されています。 下記も参照してください。

https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/888963080/BRMS+SQL+Services

IBM **i** 2025

2. BRMSの新しい機能のご紹介

(1) BRMS Web インターフェイス

- WebブラウザからBRMSのバックアップと媒体管理情報を簡単に監視できます
- ユーザーの権限によって表示できる画面の内容が異なります。
 - 【例】SETUSRBRM USER(user-profile) USAGE(*ADMIN)で、ユーザーに管理権限を与えると 下記のバックアップ、メディア、BRMSログ、ネットワーク情報などの画面が表示されます。

IBM BRMS for i		N.C70ADE21 (LOCAL) 👻				
概要		⑥ 概要				
制御グループ バックアップ	^	Backups	SQL	Media	SQL	Network
バックアップ・リスト マスコミ ネットワーク エンタープライズ	~	失敗したバックアップ 不完全なバックアップ アクティブなバックアップ ♀完了したバックアップ		誤って大量に 期限切れの巻号 初期化が必要 不適切な場所		BRMS Network not Configured
BRMS ログ		キャンセルされたバックアップ		アクティブボリューム		すべて表示
官庄		すべて表示		すべて表示		
		Administration 1*ADMIN権限を持つユーザー 0*OPERATOR権限を持つユーザー	SQL			
		すべて表示				

IBM **i** 2025



解説

- ご紹介する画面は、IBM i 7.6でPTFは、SJ04437まで適用された環境です。(2025/06/09の最新レベル)
 利用するOSバージョン毎に、下記を参照して最新のBRMSのPTFを適用してください
 https://fortradocs.Atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/165642446/Enhancements+to+BRMS

https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/2534539265/Enabling+Secure+HTTPS+for+the+BRMS+Web+Interface

- ・BRMS Webインターフェイスが起動していない場合は、STRTCPSVR SERVER(*HTTP) HTTPSVR(QBRMWEBSVR) で起動できます。
- ・BRMSネットワーク機能の推奨事項 BRMSネットワーク機能を使用する場合は、IBM i 区画間の通信用のTCP/IPのDDMとDRDAを使用します。BRMS は、IBM i 通信に暗号化されたサーバー認証セキュリティを使用することを奨励しています。 CHGDDMTCAコマンドで、ユーザーIDと暗号化されたパスワードを使うように、設定することをお勧めします。

DDM TCP/IP 厚	属性の変更 ((CHGDDMTCPA)
選択項目を入力して、実行キーを押し	してください。	
サーバーの自動開始 最低の認証方式 最低の暗号化アルゴリズム	*YES *USRENCPWD *DES	*SAME, *NO, *YES *SAME, *USRID, *VLDONLY *SAME, *DES, *AES

- 2. BRMSの新しい機能のご紹介
 - (2) BRMS用のSQLサービス
 - BRMS 情報を表示、順序、およびサブセットする新しい方法として SQL Service インター フェイスを導入
 - 下記のようなカテゴリーのサブセットが提供されます。
 - ▶ メディア・サービス
 - BRMS メディア・オブジェクトに関する情報が 含まれています. 媒体の処理(WRKMEDBRM) コマンドで入手できる情報です。
 - ▶ BRMSログ・サービス
 - BRMSログ情報に関する情報が含まれています。 BRM の表示 ログ (DSPLOGBRM) コマンドで入手 できる情報です
 - ▶ メディア・ライブラリー・サービス -BRMSネットワークによって管理されている メディアライブラリを表示しています。
 - ▶ BRMS ネットワークサービス -BRMS ネットワークのシステムと設定が表示

- ▶ ポリシー・サービス
 - -システムで定義された BRMS システムポリシー 属性を表示します。BRM (WRKPCYBRM) コマン ド 入手できる情報
- > コントロールグループ・サービス
 - BRMSコントロールグループのバックアップス テータスに関する情報が含まれています。 バックアップコントロールグループ (WRKCTLGBRM) コマンドで入手できる情報
- ▶ 同期環境・サービス -バックアップ履歴を現在のシステムに送信してい るシステムを表示。
- ▶ 機能的権限情報サービス -BRMS 関数の機能権限情報を表示



解説1

- ・BRMSは、BRMS情報を表示、順序付け、サブセット化するための代替方法として、 SQLサービス・インターフェースを提供します。BRMS SQLサービスの使用を開始するには、 まず、次のことを行わなければなりません。
 - ✓ IBM i 用の最新BRMS PTF を適用します。
 - ✓ 次に下記のコマンドを実行して新しいサービスをインストールする必要があります。
 INZBRM OPTION(*SQLSRVINZ)
 - ✓ BRMS 操作の実行に使われた既存のユーザー・プロファイルの更新 これらは、適切なSQLアクセスを許可するために追加の権限を必要とする場合があります。 USAGE (* AUT) パラメーター・オプションの指定した、SETUSRBRMコマンドで、 追加権限を付与できます。
- ・SQLサービスの詳細機能は、下記のリンクを参照してください <u>https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/888963080/BRMS+SQL+Services</u>

解說2

・BRMS で利用できるSQLサービスの内、主要なコマンドを下記にご紹介します。

<u>メディア・サービス</u>

✓ QUSRBRM.MEDIA_INFO (メディア情報VIEW)

BRMSメディアオブジェクトに関する情報が含まれていま す。このビューの列に返される値は、WRKMEDBRM コマ ンドを使用したものと似ています

✓ QUSRBRM.MEDIA_SET_INFO テーブル関数

シリアルメディアセット情報を返します。シリアルメディア セットは、セーブ操作中に一緒に作成された単一または複数 のボリュームです。

 ✓ QUSRBRM.MEDIA_LIBRARY_MEDIA_INFO プロシージャー メディアライブラリデバイス内のすべてのメディアまたは特 定のメディアを返します

<u>ログサービス</u>

- ✓ QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO ログ情報VIEW
 BRMS 操作中に記録されたメッセージに関する情報が含まれ
 る。DSPLOGBRM コマンドを使用したものに似ている。
 ✓ QUSRBRM.BRMS DISTRIBUTION MESSAGES
 - QUSRDRIVI.DRIVIS_DISTRIBUTION_M 配布メッセージビュー

<u>メディア・ライブラリー・サービス</u>

 ✓ QUSRBRM.MEDIA_LIBRARY_MANAGEMENT_INFO (メディアライブラリー・管理VIEW)
 BRMS ネットワークによって管理されているメディアライ ブラリを表示

<u>BRMSネットワーク・サービス</u>

- ✓ QUSRBRM.NETWORK_INFO
 BRMS ネットワークのシステムと設定が表示
- ✓ QUSRBRM.BRMS_DISTRIBUTION_MESSAGES
 配布メッセージビュー

<u>ポリシー・サービス</u>

- ✓ QUSRBRM.MAINTENANCE_POLICY
 STRMNTBRM がコントロールグループバックアップに よって実行されるときに使用する設定を表示
- ✓ QUSRBRM.BACKUP_POLICY
 システムに定義された BRMS バックアップポリシー属性
 を表示。WRKPCYBRMコマンドTYPE(*BKU)と同

<u>コントロールグループ・サービス(BR1で提供)</u>

- ✓ QUSRBRM.CG_BACKUP_STATUS
 BRMSコントロールグループのバックアップ状況を表示
- ✓ QUSRBRM.BACKUP_OBJECT_LIST
 定義された BRMS バックアップオブジェクトリストを表示

IBM

3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう

(1)事前準備-1 (仮想テープ装置を作成)

- ✓ BRMS Webインターフェイスを使う前に、テープ装置(ここでは仮想テープ装置)を 使用可能にしておきます。
 - 1. 仮想テープ装置の作成 CRTDEVTAP DEVD(TAPVRT01) RSRCNAME(*VRT) ASSIGN(*YES) TEXT('仮想テープ装置')
 - 2. イメージカタログの作成 CRTIMGCLG IMGCLG(IMGCLG01) DIR('/IMGCLG01') TYPE(*TAP) CRTDIR(*YES) TEXT('仮想テープイメージカタログ')
 - 3. 仮想テープイメージの作成

ADDIMGCLGE IMGCLG(IMGCLG01) FROMFILE(*NEW) TOFILE(VOL001) IMGCLGIDX(*AVAIL) IMGSIZ(1000000) TEXT('イメージカタログ項目') VOLTYP(*SL) DENSITY(*VRT256K)

- 4. テープ装置をオンに構成変更 VRYCFG CFGOBJ(TAPVRT01) CFGTYPE(*DEV) STATUS(*ON)
- 5. イメージカタログを仮想テープ装置にロードする LODIMGCLG IMGCLG(IMGCLG01) DEV(TAPVRT01) OPTION(*LOAD) WRTPTC(*DFT)

© IBM 2025 仮想テープ装置の準備は以上になります。



ここからのBRMS Webインターフェイスの表示には、仮想テープ装置を使った、BRMSを操作で表示される 画面をご紹介します。

まず、事前に仮想テープを作成しておきます。

①仮想テープ装置(仮想テープ装置記述:ここでは TAPVRT01 で作成)

②イメージカタログ(仮想テープの媒体を保持するカタログ:ここではIMGCLG01で作成) /IMGCLG01 と関連ずけ ③イメージカタログ項目(仮想テープ媒体のイメージ:VOL001で作成 実際は、IFSのファイルになる)



© IBM 2025



3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (1)事前準備-2 (BRMSの基本設定)

- ✓ BRMSコマンドで基本的な初期設定を行います。
- 媒体ポリシーの作成(事前設定:仮想テープ装置をBRMSで認識させる) INZBRM OPTION(*DATA)
- 媒体ポリシーの作成(事前設定:仮想テープ装置を保管場所として指定)
 WRKLOCBRMで1:追加で、TAPVRT01を追加

			保管場所	の処理
位置	指定		閉]始文字
オフ 1= 7=	『ションを入力 追加 2= ≩ コンテナーの	して.実行キ 変更 3= = 9処理	テーを押してく コピー 4= 隊	ださい。 ほ去 5= 表示 6= :
OPT	場所 TAP/RT01	ホ゛リ ューム	コンテナー	テキスト
<u> </u>	*HOME	О	О	BRM 構成によって作成
_	VAULT	0	0	BRM 構成によって作同

- 3. 媒体ポリシーの作成(事前設定;媒体の追加の処理:仮想テープ装置で使う媒体を追加します) ADDMEDBRM VOL(VOL001) MEDCLS(VRT256K) INZ(*YES) TEXT('VIRTUAL TAPE VOLUME1') IMGCLG(IMGCLG01) DEV(TAPVRT01) CHECK(*NO)
- 4. 媒体ポリシーの作成(ここから媒体ポリシーを作成します)

「WRKPCYBRM *MED」コマンドで、<u>1:作成でポリシー欄に「TEST」を入れる。下記の様に設定</u>

=					
媒体ポリシーの処理	媒体ポリシ-	ーの作成		媒体ポリシーの作成	
位置长宁 閉始文字	選択項目を入力して、実行キーを押して、	ください。		を入力して、実行キーを押してください。	
	媒体ポリリー	TEST	名前	リューム数	*NONE, 1-9999
オプションを入力して、実行キーを押してください	保存タイプ.........		1= 日付, 2= 日数	ームの複写マーク付け <u>*N0</u>	*NO, *YES
1 = 作成 2 = 変更 3 = コ = 4 = 削除 5 = 表示	様体の保存	1	3= バージョン , 4= 氷続	リーの複与マーク付け <u>*NU</u> ト BRMS TES	*NU, *YES
	削除済みライブラリー保存	*NONE	立時, 数 値 数値, *NONE		<u> </u>
OPT ポリシー テキスト	移動ポリシー・・・・・・・・・・	*NONE	名前, *NONE, F4		
1 TEST	媒体クラス・・・・・・・・・・・	VRT256K	名前, *SYSPCY, F4		
- <u>ARCHIVAL</u> BRM 構成によって作成された項目	保管場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*HOME	名前, *ANY, リストは F4		
		*SYSTEM	名前, *SYSTEM, 1-32		
	保管ファイルの保存タイプ	4	1= 日付, 2= 日数		
		_	3= 永続 , 4= なし		
		*NONE	日付, 数值, *NONE		16
	ASP記憶域限発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*515 *NO	*515, 1-99 *VES *NO		10



Webインターフェイスの表示のために、下記の媒体ポリシーを作成しました。 主要な項目は下記の様に設定しました。

媒体ポリシー....: TEST 保存タイプ....: 3 (1=日付,2=日数 **3=バージョン**,4=永続) 媒体の保存....: 1 1は、バージョン管理の日付指定 削除済みライブラリー保存..: *NONE 移動ポリシー....: *NONE 媒体クラス....: *VRT256K 保管場所....: *HOME *NOME はTAPVRT01を含みます。

必要ボリューム数.....:1 *NONE, 1-9999 1は。VOL001のみを指定という意味 ボリュームの複写マーク付け..: *NO *NO, *YES ヒストリーの複写マーク付け..: *NO *NO, *YES テキスト.....: BRMS TEST



3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (1)事前準備-3 (バックアップ・リストの作成)

- ✓ BRMSコマンドで、保管する対象を設定します。
- 1. 保管対象の設定

WRKLBRM で1:追加 でリスト<u>名:TEST 使用:*BKU タイプ:*OBJ で実</u>行

				リストの処理	
位置	【指定...			開始文字	
オフ 1=	プションを入り 追加 2= す	りして, 変更	実行 ^は 3= コピ	Fーを押してください。 ピー 4= 除去 5= 表示	6= 印刷
OPT	リスト名	使用	タイフ゜	テキスト	
1	TEST	*BKU	*0BJ		
_	QALESPEF	*BKU *BKH	*UBJ	ALL OUTQ	
	QIBMLINK	*BKU	*LNK	ALL IBM DIRECTORY	
	QLNKOMT	*BKU	*LNK	*LINK USR DEFULT LST	

2. 保管対象の設定

下図のように設定して、SAWADALIB を全保管で設定

	オブジェクト・リストの追加 670									
使用	使用........: *BKU									
リスト名	リスト名...... T <u>EST</u>									
テキスト	テキスト...... SAWADALIB BACKUP									
選択項目	●を入力して,	実行キーを押	₱してくださ	きしい。						
SEQ	ライフ [*] ラリー	オフ゛シ゛ェクト	タイプ	属性	メンバー	INC/EX				
10	SAWADALIB	<u>*ALL</u>	<u>*ALL</u>	<u>*ALL</u>	<u>*ALL</u>	<u>*INC</u>				

© IBM 2025

3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (1)事前準備-4 (バックアップ制御グループの作成)

✓ BRMSコマンドで、バックアップ制御グループを作成します。 下記の様に設定

1. バックアップ制御グループの作成ー制御グループ作成 WRKCTLGBRM で1:追加 で制御グループ名:TEST

バックアップ制御グループの処理							
位置指定			開始文字				
オプションを	入力して、実	行キーを押し	てください。				
T= TF成 6= スケジュ	2-項目の編集	R 3- コC 8= 属性の3	— 4- p 変更 9= 2	加藤 5- 表示 処理するサブシステ-	۵		
	全	増分	週間				
制御	媒体	媒体	活動				
OPT ク゛ルーフ゜	ポリシー	ポリシー	SMT₩TFS	テキスト			
1 TEST							
*BKUGRP		*BKUPCY	*BKUPCY	ALL USERDATA BAG	СКИР		
*SYSGRP	SAVSYS	SAVSYS	*BKUPCY	SAVSYS *IBM BACK	KUP		
*SYSTEM	SYSTEM	SYSTEM	*BKUPCY	システム全体のバ	ックアップ		

2. バックアップ制御グループの作成ーバックアップポリシーとの連携 先ほどの制御グループの属性を変更する

バックアップ:TEST バックアップ装置:TAPVRT01

		1	ヾックアップ 制	刮御グルーフ	プの処理
位	置指定..			開始文字	
オ	プションを,	入力して、実行	行キーを押し	てください	。 训除 5- 志云
6:	= スケジュ・	ールに追加	8= 属性の	変更 9=	処理するサブシ
	制御	全媒体	増分 媒体	週間 活動	
OPT	ク [*] ルーフ*	ポリシー	ポリシー	SMTWTFS	テキスト
	*BKUGRP	*BKUPCY	*BKUPCY	*BKUPCY	ALL USERDA
	*SYSGRP	SAVSYS	SAVSYS	*BKUPCY	SAVSYS *IB
	*SYSTEM	SYSTEM	SYSTEM	*BKUPCY	システム全体
8	TEST	*BKUPCY	*BKUPCY	*BKUPCY	*NONE

ハ゛ックアッフ゜

バックアップ制御グループ属性の変更

TAPVRT01

*NONE

*BKUPCY *BKUPCY

FFFFFF

*BKUPCY

SEQ 項目

報を入力して、実行キーを押してください。

体ポリシー:

列装置資源:

10 TEST

リスト

タイフ゜

ASP

*0BJ *SYSBAS

1-32. *NONE.

SMTWTFS (F/I)

*CUML

装置

*AVA1

*INCR *BKUPC

*MIN

週間

活動

SMTWTFS

*DFTACT

オフ゛シ゛ェクト

明細

保存

*YES

BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (1)事前準備-5 (バックアップ制御グループの作成と実行)

3. バックアップ制御グループの作成ー制御グループ作成 前頁の続き(次ページで)アクセスパスの保管を*YESに

バックアップ制御グループ属	性の変更
グループ:::TEST	
情報を入力して、実行キーを押してください。	
媒体情報の 自動バックアップ	*L1B, *C *YES, *N *YES, *N *NONE, * *NONE, *

- 4. それでは、ここまでの事前設定したBRMSポリシーに基づき、バックアップを実行してみます。 STRBKUBRM CTLGRP(TEST) SBMJOB(*NO)
 - *この後、この設定とログをWebインターフェイスとSQLサービスで確認します。

BRM 使用のバック	ァアップの開始	(STRBKUBRM)
選択項目を入力して、実行キーを押し	してください。	
制御グループ	TEST *IMMED *NO	*BKUGRP, *SYSGRP, *SYSTEM HHMM, *IMMED *YES, *CONSOLE, *CTLSBS, *NO
番号	*FIRST *FIRST *CTLGRPATR	1–9999, *FIRST 名前,*FIRST *CTLGRPATR, *BKUPCY, *NO

IBM **i** 2025

3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (2)バックアップの設定状況とログを確認してみよう ~5250画面とWebインターフェイスの両方で確認してみます。

1. バックアップ制御グループの設定状況の確認

Webインターフェイスでの表示(タブで全設定を一括で参照できます)

コントロールグループの詳細 5%							squ					
制御	甲グループ	最終変更	更タイム・スタンプ	最終変	「更ユーザー	テキスト	记述					
TE	TEST 2025年6月6日15:31		SAW	ADA								
\$	処理前	項目数	デバイス/メディブ	アーアクテ	ィビティー	後処理	電源遮断	ジョブ待ち行列	サブシステム	図書館が省暇	3 IFS(a	当略
	コント	ロール	グループのエン	・トリー								SQL
	バック プ項目	フアッ ヨ	リスト・タイプ	ASP装置	日曜日の 活動	月曜日の 活動	火曜日の 活動	水曜日の 活動	木曜日の 名 活動 流	金曜日の 土 活動 活	曜日の 動	オプジェクト明 細の保存
	TEST		オブジェクト・ リスト	*SYSBAS	FULL	FULL	FULL	FULL	FULL F	ULL FU	ILL	YES

/ ////		6 7 /	_							
コン	>□−ルグ	レープの詳細	-		SQL.					
制御グルー	-プ 最終変	更タイム・スタンプ	最終変更ユーザー	テキスト	記述					
TEST	2025	年6月6日 15:31	SAWADA							
処理前	項目数	デバイス/メディア	アクティビティー	後処理	電源遮断	ジョブ待ち行列	サブシステム	図書館が省略	IFSは省略	
装	置									
バッ	クアップ装置						TAPV	RT01		
Minie	ım 並列リソース	κ.					SERI	AL		
最大並列リソース							SERI	AL		
最適	ブロック・サイス	ズの使用					DEVI	CE		
デー	タの圧縮						DEVI	CE		
デー	タの短縮						YES			

同じ設定を5250で表示 (WRKCTLGBRM)でTESTを表示 (複数ページに設定が分散されている)

-	バックアッコ	プ制御グループ項目の表示
グループ 省略時の活動 . テキスト	: TES : FFFI : *NO	T FFFF NE
ヽ゛ックアッフ゜ SEQ 項目 10 TEST	リスト ASP タイフ° 装置 *OBJ *SYSBAS	週間 オブジェクト 活動 明細 SMTWTFS 保存 *DFTACT *YES

© IBM 2025

3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (2)バックアップの設定状況とログを確認してみよう

~5250画面とWebインターフェイスの両方で確認してみます。

2. バックアップ・リストの設定状況の確認

<u>Webインターフェイスでの表示</u> (内容は5250画面相当)

バックアップリストの詩	f細 squ					
リスト名 リスト・タイプ	テキスト記述					
TEST オブジェクト・リスト	SAWADALIB BACKUP					
リストの項目						
オブジェクトリストの	のエントリ					sqi. G
ライブラリー	オブジェクト	オブジェクト・タイプ	オブジェクト属性	メンバー名	リスト省略	101
SAWADALIB	*ALL	*ALL	*ALL	*ALL	INCLUDE	
				Rows per page: 10 👻	1–1 of 1	< >

同じ設定を5250で表示 (WRKCTLGBRM)でTESTを表示

		オ	トブジェ	C70ADE21			
使用 リスト名 テキスト	· · · · · · · ·	. : * . : T . : S	BKU EST AWADAL I	B BACKUP			
SEQ 10	ライフ[*] ラリ− SAWADALIB	オフ゛シ゛ *ALL	ェクト	タイプ *ALL	属性 *ALL	メンバー *ALL	INC/EXC *INC

3. BRMS Webインターフェイスを使ってみよう (2)バックアップの設定状況とログを確認してみよう

~5250画面とWebインターフェイスの両方で確認してみます。

3. バックアップ完了のログ表示確認

Webインターフェイスでの表示(保管のサイズの情報もあり、分かり易く表示できる)

											バックアップの詳細 🕮		
合概	腰 / 🗟 制御グル	ープ / 昆バ	ックアップ								バックアップ情報		装置 ゅ
											システムのバックアップ	APPN.C70ADE21	義置名
											制御グループ	TEST コントロールグループの詳細を表示	TAPVRT01
	コントロール	グループの)バックアップ	状況		Q、検索		制御グ	ループ 🔹		修飾ジョブ名	004370/SAWADA/QPADEV0001 BRMSログを表示	ボリューム 🏎
	制御グ	タイ			期	保管 わ	保管されなかったオブ	さわかかったオブ ボリューム		保存 開始	2025年6月6日 17:02	401- 7	
	ループ	ァ. プ	保存 開始	保存終了 ↓	間	ን" τ <i>ካ</i> ኑ	ジェクト数	状況	状態	有効期限 □	保存終了	2025年6月6日 17:02	
		-							D HOA		期間	0	YOLUUI
	TEST	BACKUP	2025年6月6日	2025年6月6日	0	72	0	🕗 完	Active	2039年1月1日	保管 オブジェクト	72	
			17:02	17:02	-		-	了		00:00	保管されなかったオブジェクト数	0	
											サイズ	10.17 MB	
							Rows per page: 10 👻 1–1 of 1 🤇 🗧					⊘ 完了	
											媒体クラス	VRT256K	

源は *N です

同じログを、5250で表示(DSPLOGBRM)で (制御グループTESTの完了状況を表示) ログを表示して、該当部分をF4で詳細表示する 必要がある。慣れないとわかりにくい。

メッセージ ID : CP16705 重大度 10 : QPADEVOOO1 1-# -. . : SAWADA 番号 : 004370 送信日 送信時刻 : 17:02:30 プログラム : Q1AXCMD 領域 : *BKU 装置 TAPVRT01 上の順序 2 , ボリューム VOLOO1 で 21 個 メッセージ..: ックが処理されました。 装置 TAPVRT01 にロードされたボリューム VOLOO1 のファイル・ラベル QUSR 順序 2 で 21 個のブロックが処理されました。最大ブロック・サイズは 2621 <u>44 です。テープ・ファイルは、 25/06/06 17:02:30 にオープンされ、 25/06/06</u> 17:02:30 にクローズされました。ファイルがオープンされていた合計時間は 0 秒 でした。装置がテープ・ライブラリーである場合には、カートリッジは *N で、資

追加の BRM ログ情報

C70ADE21

© IBM 2025

4. BRMS SQLサービスを使ってみよう

バックアップの設定状況とログを確認してみよう

~Webインターフェイスと同様の情報を、BRMS SQLサービスを使って表示してみます

1. バックアップ制御グループの設定状況の確認

<u>BRMS SQLサービスでの表示(QUSRBRM.CONTROL_GROUP で制御グループの表示</u>

:5250と同等の項目を選択した。100以上の項目があり、必要な部分を容易に表示できます。

SELECT CONTROL_GROUP, SUNDAY_BACKUP, MONDAY_BACKUP, TUESDAY_BACKUP, WEDNESDAY_BACKUP, THURSDAY_BACKUP, FRIDAY_BACKUP, SATURDAY_BACKUP, DEVICE_NAMES FROM QUSRBRM.CG_VIEW WHERE CONTROL_GROUP = 'TEST'

CONTROL_GROUP	SUNDAY_BACKUP	MONDAY_BACKUP	TUESDAY_BACKUP	WEDNESDAY_BACKUP	THURSDAY_BACKUP	FRIDAY_BACKUP	SATURDAY_BACKUP	DEVICE
TEST	FULL	FULL	FULL	FULL	FULL	FULL	FULL	TAPVRT

同じ設定を5250で表示 (WRKCTLGBRM)で TESTを表示

_	バックアップ	制御グループ項目の表示
グループ 省略時の活動 . テキスト	: TEST : FFFF : *NON	FFF.
ヽ゛ックアッフ゜ SEQ 項目 10 TEST	リスト ASP タイフ [°] 装置 *OBJ *SYSBAS	週間 オフ [・] シ [・] ェクト 活動 明細 SMTWTFS 保存 *DFTACT *YES

・バックアップ制御グループの表示用のSQLサービスである、「QUSRBRM.CONTROL_GROUP」には、 100以上の項目が登録されており、制御グループの表示に必要な項目は、全て取得できます。 項目の詳細説明は下記を参照

https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/2970615817/QUSRBRM.CONTROL_GROUP+View

列の許	秋出:											
IJ	名前	タイプ	Precisio n	位取り		メル可 能	ラベル					
	1 CONTROL_GROUP	VARCHAR		10	0	いいえ	CONTROL_GROUP					
	2 FULL_MEDIA_POLICY	VARCHAR		10	0	いいえ	FULL_MEDIA_POLICY					
	3 FULL_MEDIA_POLICY_BACKUP_POLICY	VARCHAR		10	0	はい	FULL_MEDIA_POLICY_BACKUP_P					
		VARCHAR		10	0	はいう	INCREMENTAL MEDIA DOLICY					
	6 INCREMENTAL MEDIA POLICY BACKUP POLICY	VARCHAR		10	0	ttu	INCREMENTAL MEDIA POLICY B					
	7 INCREMENTAL MEDIA POLICY SYSTEM POLICY	VARCHAR		10	ŏ	it i	INCREMENTAL MEDIA POLICY S					
	8 SUNDAY BACKUP	VARCHAR		11	ŏ	いいえ	SUNDAY BACKUP					
	9 SUNDAY BACKUP BACKUP POLICY	VARCHAR		11	ŏ	はい	SUNDAY BACKUP BACKUP POL					
	10 MONDAY BACKUP	VARCHAR		11	0	いいえ	MONDAY BACKUP					
	11 MONDAY_BACKUP_BACKUP_POLICY	VARCHAR		11	0	はい	MONDAY_BACKUP_BACKUP_POL					
	12 TUESDAY_BACKUP	VARCHAR		11	0	いいえ	TUESDAY_BACKUP					
	13 TUESDAY_BACKUP_BACKUP_POLICY	VARCHAR		11	0	はい	TUESDAY_BACKUP_BACKUP_POL					
	14 WEDNESDAY_BACKUP	VARCHAR		11	列の)詳細:						
	15 WEDNESDAY_BACKUP_BACKUP_POLICY	VARCHAR		11								
	16 THURSDAY_BACKUP	VARCHAR		11	204			b d = P	Precisio		メルリ	
	17 THURSDAY_BACKUP_BACKUP_POLICY	VARCHAR		11	列	1	a AU	タイプ	n	位取り	育尼	ラベル
		VARCHAR		11		92 EX	(IT_PROGRAM_LIBRARY	VARCHAR	10		0 いいえ	EXIT_PROGRAM_LIBRARY
		VARCHAR		11		93 E)	<pre>{IT_PROGRAM_LIBRARY_BACKUP_POLICY</pre>	VARCHAR	10)	0 はい	EXIT_PROGRAM_LIBRARY_BAC
	21 SATURDAY BACKUP BACKUP POLICY	VARCHAR		11		94 EX	<pre>KIT_PROGRAM_FORMAT</pre>	VARCHAR	8		0 いいえ	EXIT_PROGRAM_FORMAT
	22 SIGNOFE INTERACTIVE LISERS	VARCHAR		7		95 E)	<pre>KIT_PROGRAM_FORMAT_BACKUP_POLICY</pre>	VARCHAR	8	1	0 はい	EXIT_PROGRAM_FORMAT_BAC
	23 SIGNOFF INTERACTIVE USERS BACKUP POLICY	VARCHAR		2		96 M	ISSED_OBJECT_POLICY	VARCHAR	10		0 いいえ	MISSED_OBJECT_POLICY
	24 SIGNOFF INTERACTIVE USERS SYSTEM POLICY	VARCHAR		ż		97 M	SSED_OBJECT_POLICY_BACKUP_POLICY	VARCHAR	10)	0 はい	MISSED_OBJECT_POLICY_BAC
						98 C	EAR_MISSED_OBJECTS	VARCHAR	7		0 いいえ	CLEAR_MISSED_OBJECTS
						99 C	EAR_MISSED_OBJECTS_BACKUP_POLICY	VARCHAR	3	1	0 はい	CLEAR_MISSED_OBJECTS_BAC
						100 J	DURNALING_REPORT	VARCHAR	10		0 はい	JOURNALING_REPORT
						101 A	SYNCHRONOUS_BRING	VARCHAR	7		0 いいえ	ASYNCHRONOUS BRING
						102 A	SYNCHRONOUS_BRING_BACKUP_POLICY	VARCHAR	3		0 はい	ASYNCHRONOUS_BRING_BACK
						103 LI	BRARY ORDER	VARCHAR	7		0 いいえ	LIBRARY ORDER
						104 LI	BRARY ORDER BACKUP_POLICY	VARCHAR	4		0 はい	LIBRARY ORDER BACKUP POI
						105 A	LOW ACTIVITY OVERRIDE	VARCHAR	3		0 いいえ	ALLOW ACTIVITY OVERRIDE
						106 A	LOW RETENTION OVERRIDE	VARCHAR	3		0 いいえ	ALLOW RETENTION OVERRIDE
						107 T	OPIP SERVERS ACTION	VARCHAR	7		0 いいえ	TCPIP SERVERS ACTION
						108 L	DTUŠ SERVERŠ ACTION	VARCHAR	7		0 いいえ	LOTUS SERVERS ACTION
						109 IN	TEGRATED WINDOWS SERVERS ACTION	VARCHAR	7		0 いいえ	INTEGRATED WINDOWS SERVE
						110 G	JEST PARTITIONS ACTION	VARCHAR	7		0 いいえ	GUEST PARTITIONS ACTION
						111 U	MOUNT UDFS	VARCHAR	3		0 いいえ	UNMOUNT UDFS
						112 R	IN MAINTENANCE	VARCHAR	3		0 いいえ	RUN MAINTENANCE
						1131	AST CHANGE TIMESTAMP	TIMESTAMP	19		0 いいえ	LAST CHANGE TIMESTAMP
						114 L	AST CHANGE USER	VARCHAR	10		0 いいえ	LAST CHANGE USER
	005					115 T	XT	VARCHAR	50		0 440	TEXT
ルン	025					110 11		TANGUAN	50	,	0 10.0	16/11

IBM

4. BRMS SQLサービスを使ってみよう

バックアップの設定状況とログを確認してみよう

~ BRMS SQLサービスを使って表示してみます

2. バックアップ・リストの設定状況

<u>BRMS SQLインターフェイスでの表示(QUSRBRM.BACKUP_OBJECT_LISTビューでリストの表示)</u> (5250画面とほぼ同等情報を表示)

1 SELECT * FROM QUSRBRM.BACKUP_OBJECT_LIST WHERE LIST_NAME = 'TEST';

LIST_NAME	LIST_SEQUENCE	LIBRARY	OBJECT_NAME	OBJECT_TYPE	OBJECT_ATTRIBUTE	OBJECT_MEMBER	LIST_OMIT
TEST	10	SAWADALIB	*ALL	*ALL	*ALL	*ALL	INCLUDE

同じ設定を5250で表示 (WRKCTLGBRM)でTESTを表示

		オブ	゚ジェクト・リ	ストの表示	Ŕ	C70ADE21
使用 リスト名 テキスト	· · · · · · ·	: *BKL : TEST : SAWA	DALIB BACKUP	•		
SEQ 10	ライフ [、] ラリー SAWADALIB	オフ゛シ゛ェクト *ALL	タイプ *ALL	属性 *ALL	メ ンバー *ALL	INC/EXC *INC

 ・情報内容は5250画面と変わりませんが、バックアップ・リストを表示SQLサービスである、 「<u>QUSRBRM.BACKUP_OBJECT_LIST</u>」では、全バックアップリストが一覧表示できます。

SELECT * FROM QUSRBRM.BACKUP_OBJECT_LIST;

LIST_NAME	LIST_SEQUENCE	LIBRARY	OBJECT_NAME	OBJECT_TYPE	OBJECT_ATTRIBUTE	OBJECT_MEMBER	LIST_OMIT
QALLSPLF	200	T*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	220	V*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	180	R*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	240	X*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	80	H*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	10	A*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	170	Q*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	250	Y*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	100	J*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	160	P*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	60	F*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	120	L*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	110	K*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
TEST	10	SAWADALIB	*ALL	*ALL	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	40	D*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	20	8*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	150	0*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	260	Z*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	90]*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	190	S*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	230	W*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	70	G*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	140	N*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	210	U*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	30	C*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	50	E*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE
QALLSPLF	130	M*	*ALL	*OUTQ	*ALL	*ALL	INCLUDE

4. BRMS SQLインターフェイスを使ってみよう

バックアップの設定状況とログを確認してみよう

~ BRMS SQLサービスを使って表示してみます

3. バックアップ完了のログ表示

<u>BRMS SQLサービスでの表示(QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO を使ってログを表示)</u>

(例)ジョブの BRMS ログ情報を返します (ジョブ名:004370/SAWADA/QPADEV0001を選択)

1 SELECT * FROM QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO WHERE QUALIFIED_JOB_NAME = '004370/SAWADA/QPADEV0001' AND AREA LIKE 'BACKUP'

QUALIFIED JOB NAME	Logged Timestamp MESSAGE TIMESTAMP	MESSAGE _PROGRA M	AREA	CON TRO L_GR OUP	MESSAGE TEXT
004270 (04WADA (00 ADE)(0001	2025-06-06 17:02:20 001500	014074	PACKUD	TECT	
004370/ SAWADA/ QPADE 0001	2025-00-00 17:02:29.991509	QIACAA	BACKUP	TEOT	ンストーについの木をかたすした。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:30.368811	QIACRD	BACKUP	TEST	波直1APVR101へのたいBの媒体情報の体管を開始中。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:30.589395	QIACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。 第二章
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:27.981748	Q1AC0DV	BACKUP	TEST	制御クルーフTEST.タイフ*BKUには装置TAPVRT01か使用される。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.008848	Q1ARBK	BACKUP	TEST	対話式ユーザーは活動状態のままです。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 15:31:20.315228	Q1ARCM	BACKUP	-	制御グループTESTが変更された。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.873088	Q1ACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:29.635779	Q1AXCMD	BACKUP	TEST	装置TAPVRT01上の順序1, ボリュームVOL001で29個のブロックが処理されました。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:27.967676	Q1ACCEM	BACKUP	TEST	1満了済みボリュームの要求は正常に行われた。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.906554	Q1ACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 14:24:22.780865	Q1ACST	BACKUP	-	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:30.628111	Q1ACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:27.717825	Q1ACBK	BACKUP	TEST	制御グループTEST.タイプ*BKUの処理を開始してくたさい。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.565242	Q1ACXA	BACKUP	TEST	装置TAPVRT01へのリストTESTの保管を開始中。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 14:24:22.586916	Q1ACST	BACKUP	-	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.448554	Q1ACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:30.975083	Q1AXCMD	BACKUP	TEST	装置TAPVRT01上の順序2, ボリュームVOL001で21個のブロックが処理されました。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:31.774009	Q1ACBK	BACKUP	TEST	制御グループTEST.タイプ*BKUの処理が完了した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:29.840802	Q1AXCMD	BACKUP	TEST	56個のオブジェクトがライブラリーSAWADALIBから保管されました。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:29.110356	Q1ACSLIB	BACKUP	TEST	装置TAPVRT01へのライブラリーまたは特殊値SAWADALIBの保管を開始中。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:31.208111	Q1AXCMD	BACKUP	TEST	16個のオブジェクトがライブラリーQUSRBRMから保管されました。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:31.390567	Q1ACRD	BACKUP	TEST	レベル*LIBでBRM媒体情報の保管が完了した。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 15:01:38.936451	Q1ARCG	BACKUP	-	制御グループTESTの項目が変更された。
004370/SAWADA/QPADEV0001	2025-06-06 17:02:28.417595	Q1ACST	BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。

 ・バックアップのログを表示するSQLサービスである、「<u>QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO</u>」では、 BRMS 操作中に記録されたメッセージに関する情報が全て入手できます。
 列名;AREAに下記のカテゴリーがあるので、必要なカテゴリーを選択して情報を入手できます。

ARCHIVE: BRMS アーカイブ・プロセス BACKUP: BRMS バックアップ・プロセス ENTERPRISE: BRMS エンタープライズ機能 MAINTENANCE: BRMS 保守機能 MEDIA: BRMS 媒体機能 MIGRATION: BRMS 移行機能 RECOVERY: BRMS 回復機能 RETRIEVE: BRMS 動的検索機能 SECURITY: BRMS セキュリティ機能 SELECT * FROM QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO WHERE AREA = 'BACKUP';

AREA	CONTROL_GROUP	MESSAGE_TEXT	
BACKUP	TEST	リストTESTの保管が完了した。	
BACKUP	TEST	装置TAPVRT01へのレベル*LIBの媒体情報の保管を開始中。	
BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	-	制御グループSYSTEM2が変更された。	
BACKUP	TEST	制御グループTEST,タイプ*BKUには装置TAPVRT01が使用される。	
BACKUP	TEST	対話式ユーザーは活動状態のままです。	۰,
BACKUP	-	制御グループTESTが変更された。	5
BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	TEST	装置TAPVRT01上の順序1. ボリュームVOL001で29個のブロックが処理されました。	
BACKUP	TEST	1満了済みボリュームの要求は正常に行われた。	
BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	-	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	-	制御クループSYSTEM2の項目が変更された。	
BACKUP	-	制御クループ*BKUGRPの項目が変更された。	
BACKUP	TEST	制御クルーフTEST、タイフ*BKUの処理を開始してくたさい。	
BACKUP	TEST	装置TAPVRTOTへのリストTESTの保管を開始中。	
BACKUP	-	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	TEST	媒体制御の変更は成功した。	
BACKUP	TEST	装置TAPVRT01上の順序2、ホリュームVOL001で21個のフロックか処理されました。	
BACKUP	TEST	制御クルーノTEST、タイノ*BKUの処理が売了した。	
BACKUP	-	制御クルーノSYSTEM2の項目が変更された。	
BACKUP	TEST	56個のオフシェクトかライフラリーSAWADALIBから保管されました。	
BACKUP	IESI	装置IAPVRI01へのフィノフリーまたは特殊値SAWADALIBの保管を開始中。	
BACKUP	-	制御クルーノ*SYSGRPの項目が変更された。	- 2
BACKUP	IESI	16個のオノンエットかつイノフリーQUSRBRMから保管されました。 付ければし、ゴエロの本語をあった。	
BACKUP	-	利仰クルーノたらしか変更でれた。	-
BACKUP	IESI	レヘルギLIDでBKM殊体情報の体質の元子した。	
BACKUP	TECT	利御クルーノ1と31の項目か変更でんた。 雄体制錬の変更はませした	1
BACKUP	IESI	殊浄利御の変更は成列した。	-

SELECT * FROM QUSRBRM.BRMS_LOG_INFO WHERE AREA = 'MEDIA';

E_PROGRAM AREA CONTROL_GROUP MESSAGE_TEXT MEDIA - ポリュームVOL001が初期設定された。 MEDIA - 媒体クラスVRT256KでポリュームVOL001が媒体インベントリーに追加された。 MEDIA - ポリュームVOL001が媒体管理の制御のもとにない。 IKM

4. 補足情報

1. BRMSのマニュアル <u>https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.5.0?topic=recovery-backup-media-services-brms</u> <u>https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.6.0?topic=ssw_ibm_i_76/rzai8/rzai8print.html</u>

2. BRMSの基本機能、機能強化、PTFの情報など(英語です) <u>https://fortradocs.atlassian.net/wiki/spaces/IWT/pages/165642461/Welcome+to+IBM+Backup+</u> <u>Recovery+Media+Services+BRMS+for+i</u>

3. 動画でのBRMSの基本の解説(英語です) <u>https://www.youtube.com/watch?v=DGqxC7AzT-M</u> <u>https://www.youtube.com/watch?v=v7BD8vhrpVQ</u>

4. BRMS を使用したソフトウェア暗号化 https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.6.0?topic=ssw_ibm_i_76/rzai8/rzai8_bku_encryption.html

IBM

IBM i 関連情報 (2025/03/17 更新)

IBM i ポータル・サイト https://ibm.biz/ibmijapan

i Magazine (IBM i 専門誌。春夏秋冬の年4回発刊) https://www.imagazine.co.jp/IBMi/

IBM i World 2024 オンデマンド・セミナー https://video.ibm.com/recorded/133917616 IBM i World 2023 オンデマンド・セミナー https://ibm.biz/ibmiworld2023 IBM i World 2022 オンデマンド・セミナー https://video.ibm.com/recorded/132423205

月イチIBM Power情報セミナー「IBM Power Salon」 <u>https://ibm.biz/power-salon</u>

IBM i 関連セミナー・イベント https://ibm.biz/powerevents-j

IBM i Club (日本のIBM i ユーザー様のコミュニティー) https://ibm.biz/ibmiclubjapan

IBM i 研修サービス (i-ラーニング社提供) https://www.i-learning.jp/service/it/iseries.html

IBM TechXchange Powerユーザーコミュニティー (日本) https://ibm.biz/ibm-power-user-community

IBM i RiSING - IBM i 若手技術者コミュニティー https://ibm.biz/ibmirising2025 新・IBM i入門ガイド [操作・運用編] https://www.imagazine.co.jp/01-ibm-i-jikkoukankyou-of-ibm-i-nyumon-guide-sousa-unyou/

これから使う人のためのIBM i入門ガイド https://www.imagazine.co.jp/imagazine-7071/

IBM i 情報サイト iWorld https://ibm.biz/iworldweb

IBM i 製品とサポートのロードマップ https://ibm.biz/ibmiroadmap2024

IBM i 7.5 技術資料 https://www.ibm.com/docs/ja/i/7.5

IBM Power ソフトウェアのダウンロードサイト (ESS) <u>https://ibm.biz/powerdownload</u>

Fix Central (HW・SWのFix情報提供) https://www.ibm.com/support/fixcentral/ IBM My Notifications (IBM IDの登録 [無償] が必要) 「IBM i」「9105-41B」などPTF情報の必要な製品を選択して登録できます。 https://www.ibm.com/support/mynotifications IBM i 各バージョンのライフサイクル https://www.ibm.com/support/pages/release-life-cycle IBM i 以外のSWのライフサイクル (個別検索) https://www.ibm.com/support/pages/lifecycle/

IBM Power Systems Virtual Server 情報 https://ibm.biz/pvsjapan

IBM i World 2025

2025年6月24日(火)·25日(水)

- 開場時間 : 10:00 18:30 [受付開始 9:45]
- 本会場 :日本IBM 本社虎ノ門
- リモート会場 :日本IBM 大阪事業所

※当日はお名刺を2枚ご準備ください。

AI活用などIBM i の最新テクノロジーのご紹介や、お客様によるIBM iのDX活用事例をお届けします。 展示会場では IBM i 関連ソリューションの展示ブースも設置されます。最新ツールやデモを通じて、現場課題の解決策を体感いただけます。

■ 協賛企業による展示ブース・コミュニケーションタイム	10:00-18:30
■ 技術トラック by COMMON 同日開催	10:00-17:30
 IBM i World 2025プログラム (両日同プログラムの予定) IBM i 最新情報 AIによるIBM i アプリ開発支援最新情報 お客様事例講演 4社 (一部お客様事例講演は両日で異なります) 	13:00-16:30

※予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お申込みサイト】
https://ibm.biz/ibmiworld2025onsite





【IBM i World 2025 特設サイト】 プログラム詳細・最新情報はこちら

https://ibm.biz/ibmiworld2025

IBMi

IBM **i World** 2025

ビー・エム株式会社

COMMON 同日開催

		· _

ワークショップ、セッション、および資料は、IBMによって準備され、IBM独自の見解を反映したものです。それらは情報提供の目的のみで提供されており、いかなる読 者に対しても法律的またはその他の指導や助言を意図したものではなく、またそのような結果を生むものでもありません。本資料に含まれている情報については、完全 性と正確性を期するよう努力しましたが、「現状のまま」提供され、明示または暗示にかかわらずいかなる保証も伴わないものとします。本資料またはその他の資料の 使用によって、あるいはその他の関連によって、いかなる損害が生じた場合も、IBMは責任を負わないものとします。本資料に含まれている内容は、IBMまたはそのサ プライヤーやライセンス交付者からいかなる保証または表明を引きだすことを意図したものでも、IBMソフトウェアの使用を規定する適用ライセンス契約の条項を変更す ることを意図したものでもなく、またそのような結果を生むものでもありません。

IKM

本資料でIBM製品、プログラム、またはサービスに言及していても、IBMが営業活動を行っているすべての国でそれらが使用可能であることを暗示するものではありません。本資料で言及している製品リリース日付や製品機能は、市場機会またはその他の要因に基づいてIBM独自の決定権をもっていつでも変更できるものとし、いかなる方法においても将来の製品または機能が使用可能になると確約することを意図したものではありません。本資料に含まれている内容は、読者が開始する活動によって特定の販売、売上高の向上、またはその他の結果が生じると述べる、または暗示することを意図したものでも、またそのような結果を生むものでもありません。パフォーマンスは、管理された環境において標準的なIBMベンチマークを使用した測定と予測に基づいています。ユーザーが経験する実際のスループットやパフォーマンスは、ユーザーのジョブ・ストリームにおけるマルチプログラミングの量、入出力構成、ストレージ構成、および処理されるワークロードなどの考慮事項を含む、数多くの要因に応じて変化します。したがって、個々のユーザーがここで述べられているものと同様の結果を得られると確約するものではありません。

記述されているすべてのお客様事例は、それらのお客様がどのようにIBM製品を使用したか、またそれらのお客様が達成した結果の実例として示されたものです。実際の 環境コストおよびパフォーマンス特性は、お客様ごとに異なる場合があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Db2、Rational、Power、POWER8、 POWER9、POWER10、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<u>www.ibm.com/legal/copytrade.shtml</u> をご覧ください。

インテル, Intel, Intelロゴ, Intel Inside, Intel Insideロゴ, Centrino, Intel Centrinoロゴ, Celeron, Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, およびPentium は Intel Corporationまた は子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft, Windows, Microsoft Excel, Windows NT および Windowsロゴは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは Oracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。